

資料の補足説明

資料 1 「令和3年度予算子育て支援施策関係概要」

令和3年度区の予算事業のうち子育て支援施策の概要説明です。

1 保育定員の拡充

各種事業の取組により、令和2年4月から令和4年4月までの2年間に定員を657人程度拡大し、早期の待機児童の解消を目指します。

1) 私立認可保育所

現在のところ、令和3年10月に2園、令和4年4月に1園の開設を予定しており、計3園の予算計上をしています。

2) 期間限定型保育事業

この事業は保育所入所が待機となった1歳児を対象として、主に新規園におきまして5歳児等の空き保育室を利用し保育を行う事業です。待機児童対策として令和3年度は6園、定員18人程度の事業予定としています。

3) 待機児童を対象とした居宅訪問型保育事業

この事業は保育所入所が待機となった0歳児から2歳児を対象として、ご自宅にベビーシッターを派遣し保育する事業です。待機児童対策として令和2年度に引き続き定員20人の事業予定としています。

2 保育園児のための公園送迎バスの運行

園庭の確保が難しい私立認可保育所等を対象に、園から近隣の公園まで送迎するバスを春と秋に運行します。1日に2園、年間50日程度の事業予定としています。

3 保育士資格取得支援事業

保育士の確保を図るため、保育士資格を持たない区内の認可保育所等に勤務する保育従事職員に対し、事業者が資格取得支援を行った場合に経費の一部を助成しています。令和3年度は新たに事業者支援補助制度がない場合には、資格取得者に対し直接補助も行います。

4 保育入園に関する説明動画の配信

保育所入園に関する情報を手軽に入手できるように、毎年10月に実施していた保育所入園申込説明会に代わり、新たに説明動画の配信を行います。

5 新生児誕生祝品（区内共通買物・食事券）の追加支援

新型コロナウイルス感染症による不安を抱えるなかで新生児が誕生した家庭の経済的負担を軽減する目的で、従来の新生児誕生祝品（区内共通買物券3万円分）に2万円追加し5万円を贈呈します。昨年国で実施した臨時特別給付金の対象とならない令和2年4月28日出生以降の新生児が対象です。

6 ベビーシッターによる一時預かり利用支援事業

一時的な保育が必要な保護者等を支援するため、ベビーシッターを利用した場合に保育の利用料を助成します。

利用の上限は児童1人あたり月8時間で、多胎児の場合は児童1人あたり月16時間とし多胎児支援としても充実を図ります。

7 学童クラブの待機児童対策

学童クラブについて、実際の利用率を踏まえ、登録児童数を「定員数」から「登録定数」に変更し、利用可能人数の増加を図ります。

それにより、令和3年度は135人の登録数増となります。

8 子どもの学習・生活支援事業

生活困窮者やひとり親家庭を対象に、学習・生活支援を行います。これまでの小学生(4年生から6年生)及び中学生の定員数を増やすとともに、新たに高校生世代の学習支援の場を提供し、小学生から高校生世代まで切れ目のない支援体制を図ります。

小・中学生は従来からの集合型個別指導形式学習会、高校生世代は居場所型個別指導形式学習支援として開設時間内での出入り自由な居場所型とし、進学・進路相談等にも応じます。

9 小中学校におけるICT環境の整備

小学生および中学生に一人一台のタブレット端末を整備し、学校における教育活動をはじめ、家庭学習においても活用を図ります。

10 学習力サポートテストの実施

小学校において英語が教科化されたことを受けて、小学6年生及び中学1年生の「学習力サポートテスト」の実施教科に新たに英語を追加します。

11 児童・生徒に対するアセスメントの実施

小学校4年生から中学校2年生までを対象に、児童・生徒の心理面についてのアセスメントを実施し、良好な学級運営に取り組みます。

12 城東小学校の改築

八重洲一丁目の市街地再開発事業を活用して城東小学校の改築を行います(令和4年9月の開設予定)。

13 晴海西小学校(仮称)・晴海西中学校(仮称)の整備

東京オリンピック・パラリンピック選手村跡地の住宅開発により、晴海地区の人口増加が見込まれることから、新たに晴海五丁目に小学校と中学校を整備します。

資料2 「令和3年4月保育所等利用調整結果」

令和3年4月入所の認可保育所等の第1回及び第2回の利用調整結果です。

第1回利用調整において、未決定となった681名については、第2回利用調整の申込数に計上しており人数が重複しています。

申込状況は、全体として減少傾向にあり、特に待機児童の多い0歳児から2歳児クラスの申込数が減少しています。また、この1年間で私立認可保育所を6園整備するなど定員拡大図ったことから、第1回、第2回合わせて1,430名が内定し、昨年よりも内定数は152名増え、内定率も第1回6.8ポイント、第2回5.9ポイントとそれぞれ上昇しました。

資料3 「令和3年度区立幼稚園児見込数」

令和3年度区立幼稚園の入園予定者数です。近年3歳児の入園者数は横ばいでしたが、令和3年度は前年度と比較すると、69名の減少となっております。

資料4 「令和3年度学童クラブ利用児童申請状況」

学童クラブの利用申請者数は年々増加しており、待機児童対策として、これまで弾力的な運営による定員の一部拡大のほか、施設改修等の機会をとらえて定員を拡大してまいりました。

しかし、資料の表中の合計欄にあるように、本年2月15日時点の令和3年度の申請者数は全館合わせて942名と、募集定員585名を大幅に超える多数の申請がありました。

一方で、定員に対し実際に学童クラブを利用している児童の割合（利用率）は、ほとんどの館で年間平均8割未満となっていることから、令和3年度は新たに「登録定数」を設け、定員のおおむね1.2倍の数の児童を登録できるよう運用方法を変更しました。

これにより、720名が内定し、昨年よりも内定者数は135名増え、内定率も9.1ポイント上昇しました。